

平成30年度  
宮崎県職員採用試験【大学卒業程度（林業）】

専門論文試験課題

＜課題＞

本県では、スギを中心とする人工林資源が全国に先駆けて利用期を迎え、大型製材工場や木質バイオマス発電施設の稼働等に伴う木材需要の高まりにより、伐採面積が増加し、スギの素材生産量は27年連続日本一となっています。

一方、平成27年の国勢調査による林業就業者数は2,222人で、平成22年と比較し17%減少するとともに、65歳以上の割合が23%を占めるなど高齢化も進行しています。

このような中、本県において今後とも、林業が持続的に水源涵養など森林の多面的機能の発揮や山村地域の振興に貢献してくためには、森林資源の循環利用を進める中で、林業採算性の向上を図っていくことが重要であると考えられますが、どのような取組を進めていくべきか、あなたの考えを述べなさい。